

## 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会設立10周年シンポジウム 企画（案）

### 目的

四国圏域生態系ネットワーク推進協議会では、コウノトリ・ツル類をシンボルとして、四国が一つとなった「魅力的な四国づくり」の実現に向けた取組を行ってきた。協議会に参画する自治体や地域の活動団体が、コウノトリの定着、ツル類の越冬を目指して、湿地環境を保全・再生するとともに、農業や観光、環境学習など地域づくりへの活用を進めている。今後、四国での生態系ネットワーク形成の取組のさらなる発展には、自治体や地域の活動団体と、企業の連携を深めていくことが必要である。

2026年に、四国圏域生態系ネットワーク推進協議会が設立10周年を迎えるにあたり、四国での生態系ネットワーク形成の取組について理解を深めていただき、自治体や地域の活動団体と、企業の連携を促進し、地域活性化・経済振興につなげることを目的として、シンポジウムを開催する。

### 場所

香川県高松市（対面・オンライン併用）

※サンポートホール高松 会議室 または 高松サンポート合同庁舎 会議室を想定

### 時期

2027年1月下旬～2月 ※平日での実施を想定

### 主な対象

- 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会の委員、関係者
- 企業・団体
  - ・ 四国経済連合会の会員企業
  - ・ ローカルSDGs四国の会員企業<sup>※1</sup>
  - ・ 自然共生サイトに認定されている区域を所有・管理する企業<sup>※2</sup>

※対面100名、オンライン100名程度の参加を想定

### 内容（概要）

区分	内容
開会（5分）	挨拶
講演（30分）	四国における生態系ネットワーク形成の取組の広がり
リレートーク（40分）	四国圏域における生態系ネットワークの取組
パネルディスカッション（45分）	企業と連携した生態系ネットワークの取組
閉会	—

## 内容（詳細）

### 1. 開会挨拶（5分）

国土交通省四国地方整備局 局長

### 2. 講演「四国における生態系ネットワーク形成の取組の広がり」（30分）

#### 講演①（15分）

講師：四国圏域生態系ネットワーク推進協議会 鈴木幸一 委員（愛媛大学 名誉教授）

講演概要：・コウノトリ・ツル類の飛来を機に、四国で生態系ネットワーク形成の取組が開始したこと、四国圏域生態系ネットワークにおけるこれまでの取組を説明

#### 講演②（15分）

講師：四国圏域生態系ネットワーク推進協議会 武藤裕則 会長（徳島大学工学部 部長）

講演概要：・生態系ネットワークの取組は、自然環境と社会経済を両輪とした取組であること、河川区域では国土交通省による自然再生事業等の取組、堤内地では地域の団体や企業による取組が行われていることを説明  
・取組開始から10年が経過し、さらに多くの主体に参加してもらい、取組を進めていきたいことを説明

### 3. リレートーク「四国圏域における生態系ネットワークの取組」（40分）

登壇者：四国圏域生態系ネットワーク推進協議会委員の下記4名を想定

- 西予市長
- まんのう町長
- 四万十つるの里づくりの会 会長 佐伯達雄 氏
- 認定NPO法人とくしまコウノトリ基金 事務局長 柴折史昭 氏

内容：各登壇者からこれまでの取組を紹介。

発表時間は各10分を想定。

- ・西予市長から、「ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画（ビジョン）（2022年4月）」の策定や「ツル・コウノトリ見守り隊」の設置などの取組について紹介いただく。
- ・まんのう町長から、コウノトリが営巣した電柱の人工巣塔化での関係機関（香川県、電力会社、電話会社等）との連携、営巣地周辺の立ち入り制限や地域住民や団体による見守り活動、コウノトリの飛来による地域の盛り上がりについて紹介いただく。
- ・四万十つるの里づくりの会から、ツル類のねぐら環境を創出するための冬期の田んぼへの水張り、児童・生徒を対象とした環境学習、各種の取組での助成金や寄付の活用などについて紹介いただく。

- ・とくしまコウノトリ基金から、耕作放棄地を活用したビオトープの整備・維持管理、「コウノトリ応援商品（商品の売り上げの一部がコウノトリの生息環境の保全に寄付される）」での事業者との連携などについて紹介いただく。

#### 4. パネルディスカッション「企業と連携した生態系ネットワークの取組」（45分）

コーディネーター：日本生態系協会 関健志

パネラー：4名を想定

- 四国地方整備局 河川部長
  - 鎌田磨人 氏（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授）
  - 企業①
  - 企業②
- 四国内外で連携した取組を行っている企業から選定

内 容：パネラーから各5分の発表の後に、意見交換を行う。

<パネルディスカッションの流れ（案）>

◇パネラー紹介・発表

- ・四国地方整備局から、四国の各河川での多自然川づくりや自然再生の取組の事例等をお話いただく。
- ・学識委員（鎌田氏）から、地域住民や団体等のボトムアップの取組や企業との連携の重要性をお話いただく。
- ・企業①から、取組事例をお話いただく。
- ・企業②から、取組事例をお話いただく。
- ・コーディネーターから取組事例以外の企業と連携した取組を紹介

◇意見交換

- ・四国での生態系ネットワーク形成の取組のさらなる発展に向けて、企業に求められている役割、生態系ネットワーク形成の取組に参画することの企業側のメリット（企業イメージの向上、地域への貢献）、企業との連携のポイントについて意見交換を行う。
- ・四国地方整備局から、生態系ネットワークの取組への企業・団体等のさらなる参画を呼びかける。

#### 5. 閉会

※1 ローカルSDGs四国

事務局：環境省中国四国地方環境事務所四国事務所および四国環境パートナーシップオフィス

目的：企業、金融機関、NPO等活動団体、大学・研究機関、有識者、行政等が有機的に連携し、環境、社会、経済それぞれの課題に、ESG等の視点を導入して同時解決に取り組み、自然資本を損なうことなく活用しつつ次世代に継承し、ローカルSDGs（地域循環共生圏）の達成に向けた魅力ある四国を創ることを目的とする。

ウェブサイト <https://ls459.net/>

※2 自然共生サイトに認定されている区域を所有・管理する企業：7社

「自然共生サイト」とは、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を、環境省が認定するものである。四国では下記の9社が申請を行い、認定されている。

- ・三菱電機株式会社 受配電システム製作所 [香川県丸亀市]
- ・大王製紙株式会社 [愛媛県四国中央市]
- ・住友化学株式会社 [愛媛県新居浜市]
- ・住友林業株式会社 [愛媛県新居浜市]
- ・東芝ライテック株式会社 [愛媛県今治市]
- ・三菱商事株式会社 [高知県安芸市]
- ・東京海上日動火災保険株式会社 [高知県安芸市]
- ・中江産業株式会社 [高知県土佐町]
- ・王子ホールディングス株式会社 [高知県四万十町]